

Basic Theory of Architectural Planning

教員名	奥 俊信（おく としのぶ）、木多道宏（きた みちひろ）							
教員連絡先 （研究室所在地・TEL）	吹田キャンパス S 1 棟 8 階 電話：06-6879-7640							
E-MAIL アドレス	kita@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（2 年次）							
単位	2	セメスター					3	
受講条件	地球総合工学概論、地球・環境総合工学を履修していることが望ましい。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築の計画に関する思想と論理の展開を理解し、基礎的知識を学ぶ。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎					○
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目標
	空間構成の計画（3 回）		様々な建築計画事例の分析を通して、建築の空間を組み立てるための理論と技術に関する基礎的な知識を身に付ける。（包括 3 回）					A C H
	外部環境の計画（1 回）		建築ならびに建築群の配置計画、建築と連続するオープンスペースの計画、ランドスケープデザインなどの理解を通して、外部環境の計画に関する基礎的な知識を身に付ける。（包括 1 回）					A C H
	単位の計画（1 回）		建築の規格、生活領域のまとまり、建築家によるデザイン単位など、建築や生活環境を構成する様々な単位と、これを用いた計画のあり方について基礎的な知識を身に付ける。（包括 1 回）					A C H
	建築と計画を取り巻く環境（1 回）		気候、風土、文化、地勢、技術、制度などが建築に与える影響を理解するとともに、これら諸条件に配慮した計画の理論と技術に関する基礎的な知識を身に付ける。（包括 1 回）					A C H
	領域の形成とデザイン（2 回）		領域、近隣関係、社会環境の形成に配慮した建築や集住環境の計画に関する専門的な知識を身に付ける。（高度 1 回）					A C H
	空間知覚・認知の特性（2 回）		空間の知覚・認知、建築や都市のイメージの特性から、空間形態の意味や心理的效果に関する専門的な知識を身に付ける。（高度 1 回）					A C H
	人にやさしいデザイン（1 回）		視覚・聴覚・肢体等が不自由な人々の空間知覚や行動特性を理解し、多様な人々にやさしい建築計画に関する基礎的知識を身に付ける。（包括 1 回）					A C H
	建築・都市の形成のしくみ（1 回）		近代化以前の建築・都市・集住環境が形成されるしくみの読みとり方を修得するとともに、近代的な建築・都市計画の特質と問題点、それを克服するデザインを理解する。（高度 1 回）					A C H
	学期末試験（1 回）							
教科書	プリントを配布する。							
参考図書・文献等								
成績評価方法・評価基準	A、C、H とも、中間レポート（30%）と学期末試験（70%）で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								